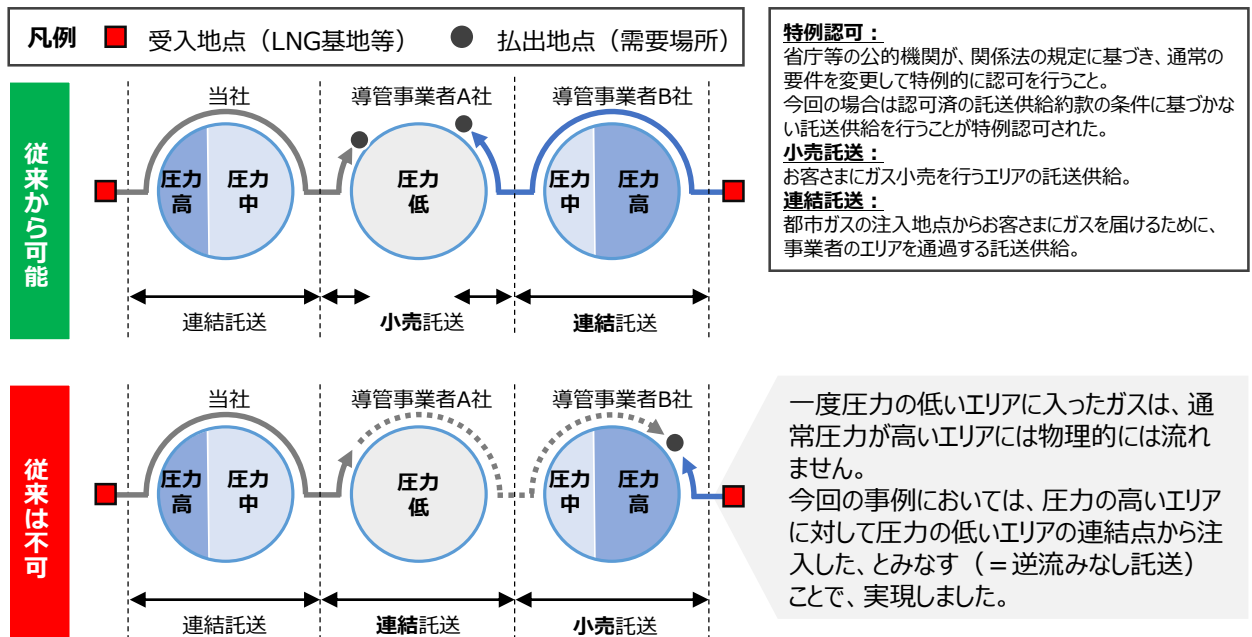


東京電力エナジーパートナー（以下、東電EP）では、更なるお客さま利益の拡大を目指し、様々な取り組みを実施しております。
今回は、「逆流みなし託送」についてご紹介します。

逆流みなし託送とは

従来の託送供給においては下図の上段しか認められておりませんでした。平成30年3月末、特例認可にて特定の事例の「逆流みなし託送」が認められることになりました。
これにより東電EPはガス小売事業者として、より競争力のある都市ガスをお客さまにお届けすることが可能となります。



逆流みなし託送のQ&A

Q.なぜ圧力の低いところから高いところに流体であるガスを送ることができるの？

A.実際のガスは届いていません。

今回のスキームは東京ガスエリア向けに東電EPが京葉ガス経由で注入したとみなす（＝逆流みなし託送）スキームであり、実際のガスは届いておりません。

Q.私は逆流みなし託送で供給してほしい（ほしくない）のですが、どうすれば良いですか？

A.逆流みなし託送を用いる託送供給にてお客さまへガスをお届けする場合は、事前にご説明を行います。

本事例は通常の託送供給約款に依らない託送供給であるため、事前にご説明をさせていただきます。なお、逆流みなし託送は工場や百貨店など、大量のガスをお使いいただけるお客さま向けの供給源とさせていただきます。

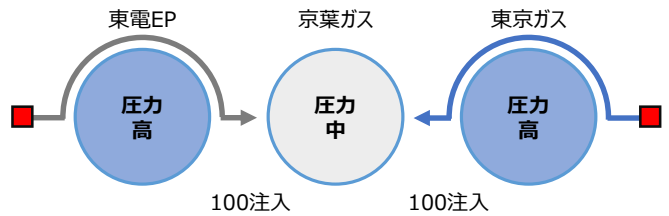
今回の事例詳細

今回の事例は、東電EPが東京ガス株式会社、京葉ガス株式会社に対して「逆流みなし託送」を依頼することで成立したスキームです。

凡例 ■ 受入地点（LNG基地等） ● 払出地点（需要場所）

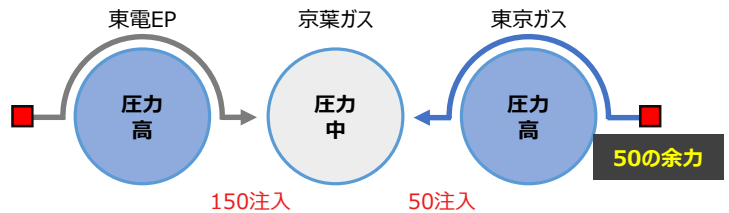
① 従来の定常状態

東電EP、東京ガスからそれぞれ京葉ガスエリアに100注入（卸売）しています。
京葉ガスネットワーク全体の需要は200です。
（数字は仮値）



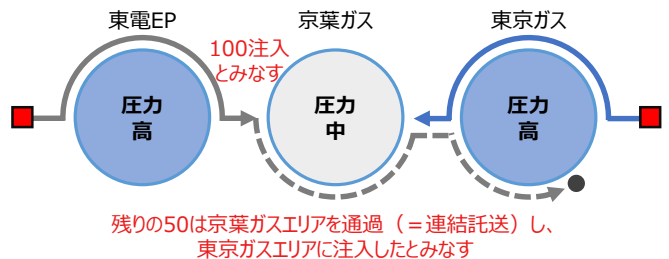
② 東電EPが多く注入

東電EPが東京ガスの代わりに、京葉ガスエリアに150注入します。
この場合、東京ガスは50の余力が生じます。



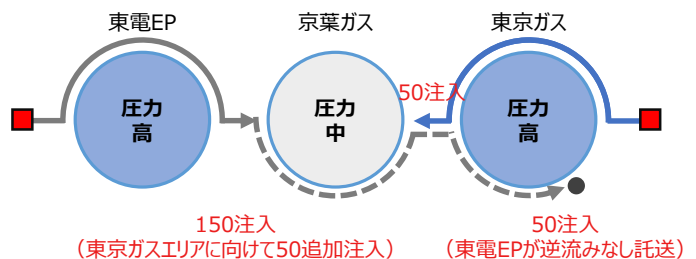
③ 東電EPが東京ガスエリアへ注入したと「みなす」

東電EPは京葉ガスエリアに150注入していますが、そのうち100注入を京葉ガス向け卸、50注入を東京ガスエリア内の小売とみなします。



④ 実際のガスの流れ

東電EP、東京ガスでそれぞれで都市ガスを注入し、ネットワーク全体を安定化させます。



関連リンク

平成30年3月16日 電力・ガス取引監視等委員会 ニュースリリース
ガスの逆流連結託送を実施する託送供給約款の特例認可に関する意見聴取について意見を回答しました
<http://www.emsc.meti.go.jp/info/public/news/20180316004.html>